



(きらめき利用者)

綜成苑・綜愛苑・つつじが丘苑・T-JOB 苑たより

令和3年1月号
統合版第118号



つわぶき会カレンダー

令和3年1月から

http://www.tuwabuki.jp/01_02_tayori_sosei.html

＝ 年 頭 挨拶 ＝

社会福祉法人つわぶき会 理事長 岩橋 秀樹



新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、今年のお正月は、例年と違った特別な過ごし方をされていることと存じますが、すこやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年から様々な行事や活動が中止され、ご迷惑やご不便をかけているにもかかわらず、法人運営にご理解とご支援をいただいておりますこと、心より御礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年1月に最初の患者が確認されてから4月には緊急事態宣言が発せられ終息の傾向にあったものの、8月には第2波にみまわれ、現在では第3波が続いている状況にあります。

法人の各施設では、集団発生を絶対起こしてはならないことから、「施設に持ち込まない」ことを念頭に、施設内の徹底した消毒や換気、加湿、検温やマスクの着用、施設外活動の自粛を行っているところであります。更には、保護者及び利用者の皆様に帰省や面会の自粛をお願いするなど、感染防止対策にご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

この様な状況であっても利用者の皆様方には、施設外で活動できない分、色々なイベントを施設内で企画し、少しでも楽しい気持ちになってもらえるよう活動しており、皆さんはとても元気で活発に過ごしておられます。

また、待ち望んでいた2棟目のグループホーム花笑をつつじが丘に開設することができ、つわぶき授産工場の施設もリニューアルすることができました。

本年も保護者の皆様方の信頼に応えられるよう、利用者の皆様が安全に安心して施設を利用していただくために、施設の安全の確保や支援技術の向上に努め、支援信条を重んじ、サービスの質の向上に取り組んでまいります。

更に、社会福祉法人として地域福祉の向上のみならず地域の活性化に貢献できるよう、めまぐるしく変化する社会・経済の中で我々がすべきことを見定め、有意義な事業活動を展開してまいりまいます。

新しい年を迎えて、気持ちも新たに、より一層、知恵を出し汗を流し、障害者本人、支える家族、職員がともに幸せになれる社会をめざし、強い団結力を持ち「子を思う親の心」を胸に精進してまいりますので、皆様方の更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、世界中で新型コロナウイルス感染症のワクチン開発が進み、終息への希望が見えてまいりました。この1年が皆様方にとって輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

綜成苑 苑長 小井 淳司

新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはよき新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は綜成苑の事業運営に格別のご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、「新しい生活様式」が示されるなど、私たちの日常生活に大きな影響を及ぼす年となりました。

毎年楽しみにされている「ふれあいの郷夏の夕べ」や「親子のつどい」が中止になるなど、利用者の皆様の活動にも影響が出ましたが、「お楽しみ会」を行うなど少しでも楽しみを感じていただけるような取り組みを行いました。

本年も新型コロナウイルス感染症対策に取り組むとともに、常に「何が利用者の皆様の為になるか」を考えながら、健康と安全に配慮し、職員一同、向上心を持って支援・業務に努めてまいります。

今後とも皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様方にとりまして、本年が素晴らしい一年でありますよう心からお祈り申し上げて、新年の挨拶とさせていただきます。



綜愛苑 苑長 塩崎 卓司

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、綜愛苑の運営にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、各種行事の中止や帰省・面会の自粛など格別のご協力を賜り心から感謝申し上げます。

新しい年を迎え、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願うと共に、職員一同心を新たに利用者の皆様一人一人が楽しく生き生きと安心して暮らし続けられるよう、今できることを全力で取り組んで参ります。

本年もご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

結びに、皆様方のご健康とご多幸をお祈りするとともに、2021年が利用者の皆様、保護者の皆様並びに全ての職員にとってかけがえのない年になりますよう祈念申し上げます新年のご挨拶とさせていただきます。



つつじが丘苑 苑長 榎本 善行

新年明けましておめでとうございます。

昨年はつつじが丘苑が開所から丸10年を迎え、また、新施設「GH花笑(グループホームかえ)」がオープンし、つつじが丘の節目の年となりました。皆様から賜りました一方ならぬ御支援に心から感謝申し上げます。

また一方で、つつじが丘苑、グループホームとも直接の大きな影響は出ていないものの、新型コロナウイルス禍の中、苑外活動がほとんどできなくなるなど、利用者の皆様に心苦しく思う一年でもありました。皆様におかれても何かと不自由な生活を過ごされたかと思えます。

今年の干支は辛丑(かのとうし)、「着実な努力がいずれ大きな花を咲かせる」年だそうです。私どももそのような思いで利用者お一人お一人の支援にあたってまいりますので、今後とも御理解、御協力をお願い申し上げます。

結びに、当たり前前の日常が一日も早く戻ること、そして、皆様のより一層の御健勝、御多幸を祈念申し上げ新年の御挨拶とさせていただきます。



1月の行事予定

- ☆ 4日(月) 安全祈願初詣
- ☆ 5日(火) 仕事始め

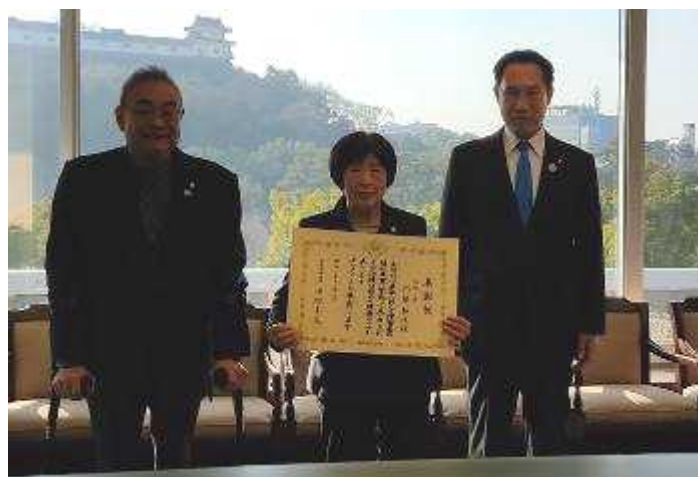


前月の主なできごと

- ★ 5日(土) 和歌山市障害者福祉表彰式(和歌山市役所)
- ★ 24日(木) クリスマス会(綜成苑入所・きらめき)
- ★ 25日(金) クリスマス会(綜成苑通所・綜愛苑・きらめき・つつじが丘苑)
- ★ 26日(土) 年末大掃除(綜成苑・綜愛苑)
- ★ 28日(月) 年末大掃除とおつかれさま会(つつじが丘苑)
仕事納め

おめでとうございます

12月23日、厚生労働大臣表彰において和歌山市障害児者父母の会理事の門脇静代様が更生援護功労賞を受賞されましたのでご報告いたします。



援員室だより

【 綜成苑 更生部 】

～ハンドベル～

週に1回、玄関ホールでハンドベルの練習をしています。職員お手製の楽譜を見ながらみなさん上手にベルを振っています。写真は、クリスマスソングの練習中です♪



～ハンドマッサージ～

3種類あるアロマの中から好きな香りを選んでもらい、そのアロマオイルでハンドマッサージを受けています。とてもいい香りで、マッサージを受けた利用者さんはとても気持ち良さそうです。



(綜成苑 更生部 生活支援員 多田耕司・山瀬祐后)

【 綜成苑 授産部 】

4週目の土曜日は、地域貢献の為 授産班の数名の利用者と支援員でハーブ園やグリーン団地の周りの清掃を行いました。



生活介護班では、今年はミニトマトを栽培しましたが、昨年よりは不作でした。また、植物を育てることを目標に、室内で栽培できるカイワレ大根、ブロッコリースプラウト、豆苗などを実験的に栽培を行いました。収穫して出来たカイワレ、ブロッコリースプラウトを調理実習で手巻き寿司やサラダにしてみんなで食べました。

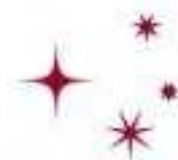


今年も例年通り6月の初めには、なんと金時のサツマイモを植えて12月3日の晴天の日生活介護班の利用者全員で収穫に行きました。

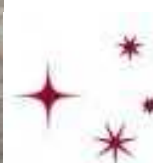
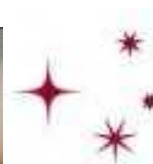


(綜成苑 授産部 サービス管理責任者 佐野 旬子)

【 綜愛苑 更生部 】



創作活動にて、河西公園で拾い集めた『松ぼっくり』を使い、思い思いのクリスマスツリーを作り上げました。



(綜愛苑 更生部 生活支援員 坂下純子)

【 きらめき 】

今年も楽しいクリスマス会がやってきました。みんなでアイデアを出し合いながらゲームや抽選会にも参加し、楽しく過ごしていただけたようです。

例年お持ち帰り用のツリーは力作でみなさん頑張って作ってくれました。(^-)-☆



(綜愛苑 更生部 生活支援員 志賀篤子)

【 つつじが丘苑 】

ひんやりとした冷たい空気に本格的な冬の訪れを感じます。

苑内では利用者さんがクリスマス仕様に描いてくれたカレンダーとみんなで飾り付けをしたクリスマスツリーが玄関を彩りました。



(つつじが丘苑 生活支援員 岸眞佐子・山本多恵)

【 T-JOB 】

□T-JOBでは「自分らしく働く」ためのプログラムを実施しています。

将来「自分らしく働く」ための必要な力を身につけるために、様々なプログラムを実施しています。生活や健康面の充実を行いながら、自己理解を深め、自分自身に自信を持ち、自分の将来についての思いや欲求を見いだしていただけるよう支援を行っています。

生活、健康、感情、コミュニケーションなどといったテーマ別にプログラムを作成し、利用者さんの特性を踏まえながら、プログラムの理解に努めています。



□母校で、T-JOB 卒業生が講演を行いました

和歌山県立みはま支援学校を卒業され、T-JOB を利用し、企業に就職された2名の方が、「自分らしく働くために」というテーマで、T-JOB 職員と一緒に、母校で講演を行いました。T-JOB 職員から活動報告などを行い、その後2名の方からそれぞれ講演を行っていただきました。T-JOB で学んだことなどを報告し、「他者との適切な距離感や、自分の欠点との向き合い方を学んだ」、「自分ひとりで悩まないで、相談しながら自分と向き合っていく方法を学んだ」といった意見を伝えていただき、2名を知る関係者からも成長した姿を見ることができてよかったと、伝えていただきました。講演に参加された2名の方にとっても将来に向けてよい経験となりました。



(T-JOB サービス管理責任者 石関良充)